



令和6年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業 中間報告会

# 「舞台公演記録のアーカイブ化のためのモデル形成事業」 ドーナツ・プロジェクト

早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館



発表者：演劇博物館 矢内有紗

---

## TABLE OF CONTENTS

---

- 01 ドーナツ・プロジェクトとは？
- 02 人材育成について
- 03 取り組み
- 04 成果報告
- 05 今後の展望

# 01

## ドーナツ・プロジェクトとは？



文化芸術振興費補助金  
大学における文化芸術推進事業  
(令和4年度、5年度、6年度)

舞台公演記録のアーカイブ化のためのモデル形成事業  
【ドーナツ・プロジェクト】



主催：早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館

運営：特定非営利活動法人 舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)



## 早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館 (1928～)

### デジタル・データベースの公開

1997年 「錦絵検索システム」 の公開

2001年 「デジタル・アーカイブ・コレクション」 の公開

2017年 「早稲田大学文化資源データベース」 の公開

2021年 「JDTA (Japan Digital Theatre Archives)」 の公開

50のデータベース  
97,267,950のアイテム

(2024年6月時)

# ドーナツの思想

図作成：岡室美奈子教授  
(演劇博物館前館長)



# ドーナツの思想

図作成：岡室美奈子教授



# ドーナツが記録・記憶するものの広がり

図作成：岡室美奈子教授

DONUTS  
PROJECT



# 現在抱えている諸問題

---

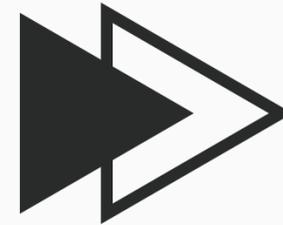
- ・ 舞台芸術のアーカイブ活動専門のポストがない
- ・ 舞台芸術アーカイブの資料の種類、保存や管理手法について十分に議論がされているとはいえない
- ・ (劇団や劇場の場合) 組織内で記録物の体系化が進まないためアーカイブ作業が困難  
—何をすればいいかわからない、創作や公演を行いながらの資料整理が難しい
- ・ 資料の著作権の問題  
—ネット等で広く公開したいが、多くの人が作品に関わっているため権利処理が難しく、利活用に発展しにくい

など…

---

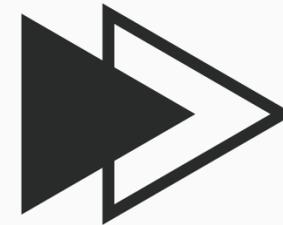
# これらの問題に対する提言

これらの問題を抱えている現状



一つ一つの組織・団体がアーカイブの知識を身に着けることで、舞台芸術アーカイブを取り巻く環境の改善・発展につながるのではないか

舞台芸術アーカイブの必要性は業界では広く認知されておらず、作業に携わる人が孤独になりがちもしくは属人化しがち



舞台芸術アーカイブに携わる人たちの交流の場を設けることで、有意義な議論の場やコミュニティが形成されるのではないか

# 02

## 人材育成について

舞台芸術のデジタル・アーカイブの構築と  
利活用を担うアートマネジメント人材の育成

# 人材育成の目標

---

- ▶ 実際に劇団・劇場の制作現場や創作の現場で働く人、各アーカイブ機関・文化施設・自治体の舞台芸術担当者を育成することで、自立的にアーカイブ活動を行うための即戦力を養成する。
- ▶ 舞台芸術のアーカイブに興味のある学生などの人材を、専門的スキルを身につけたアーキビストとして育成することで、将来的にアーキビストとして活躍できるようにする。

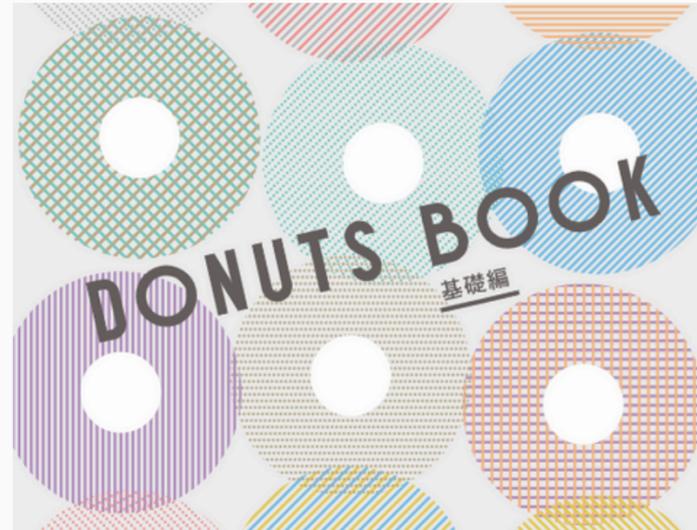
# 育成対象者

---

- ▶ 演劇、舞踊、伝統芸能などの舞台芸術に携わっている方  
(アーティスト、制作者、劇団・公演団体・劇場スタッフなど)
  - ▶ 大学で舞台芸術や映像、アートマネジメントを学ぶ/学んだ学生
  - ▶ 舞台芸術の研究者、各種文化施設の学芸員、キュレーター、アーキビスト
  - ▶ アーカイブって何？ どうやって記録を残していけばいいの？ 著作権って何？ と思う方
- など……

# 03

## ドーナツ・プロジェクトの取り組み



連続講座の開催

『DONUTS BOOK』の作成

イベントの開催



# ①

## 連続講座の開催

2022年  
〈基礎編〉

自分が志向する舞台芸術アーカイブとはどのようなものか、自分の言葉で語れるようになる

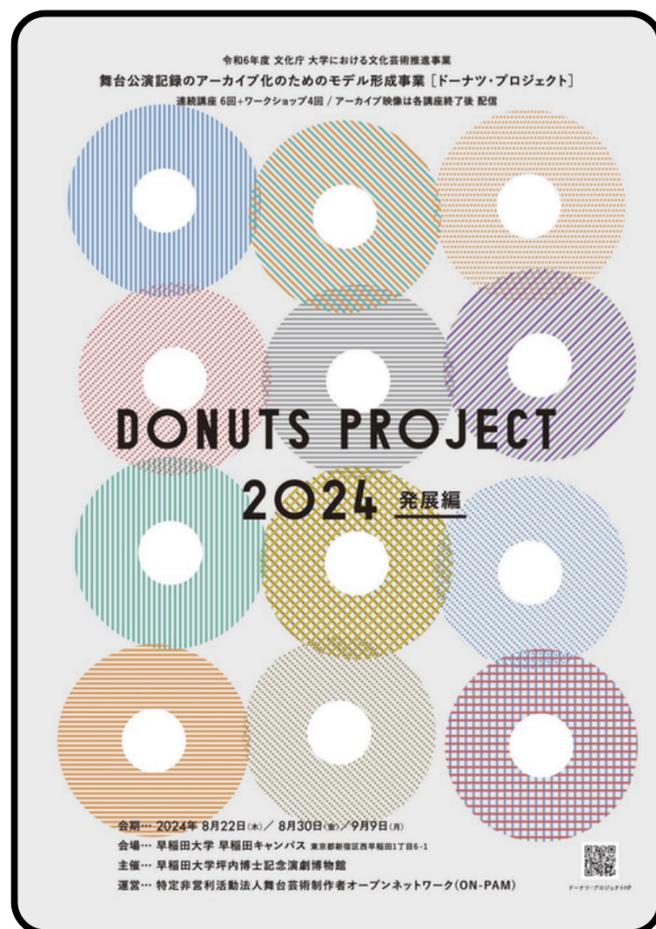
2023年  
〈実践編〉

それぞれのテーマをさらに深め、ワークやディスカッションなどを用いてより実践的な内容に踏み込み、アーカイブ構築の実際を学ぶ

2024年  
〈発展編〉

これまでの学びを、それぞれが現場に持ち帰り、実践することまでを視野に入れた、実務的な知識・技術を学ぶ

# 連続講座の目的



## 知識

舞台芸術におけるデジタル  
アーカイブの価値と可能性  
に関する知識の提供

## 技術

多様なデジタル資料を扱う  
ためのスキルを身につける

## 利活用

貴重な舞台芸術の公演記録の  
適切なアーカイブ方法と、  
潜在的な将来の収益化の道を  
確保

## ネットワーク

舞台芸術アーカイブを行う  
人同士の横のつながりを見  
出す

# 令和6年度連続講座

01

理論編 舞台芸術アーカイブの基礎

02

実践編 プロセスとしての舞台芸術アーカイブ

03

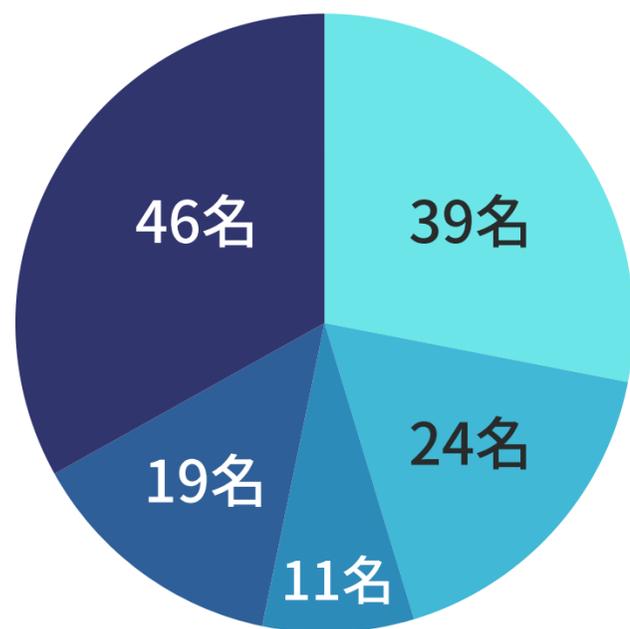
技術編 著作権と契約

04

ワークショップ 自立的なアーカイブ活動のためのワークショップ



# 講座受講者数、職種内訳の推移

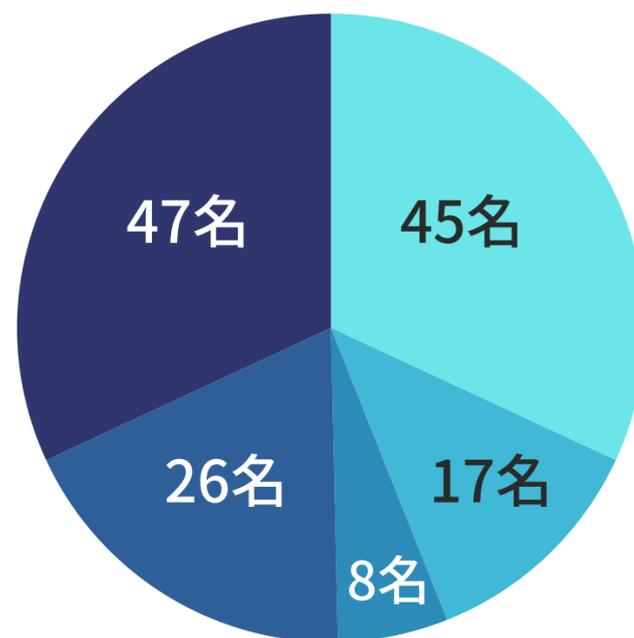


## 令和4年度

会場：25名

アーカイブ：114名

(全139名)

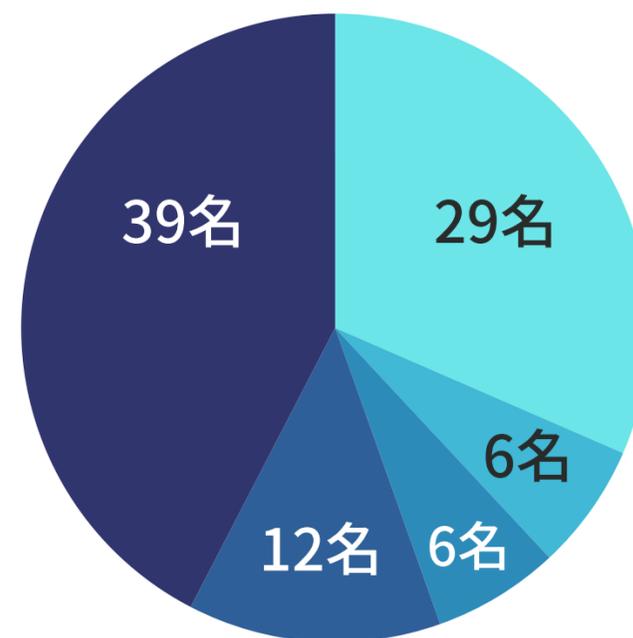


## 令和5年度

会場：28名

アーカイブ：115名

(全143名)

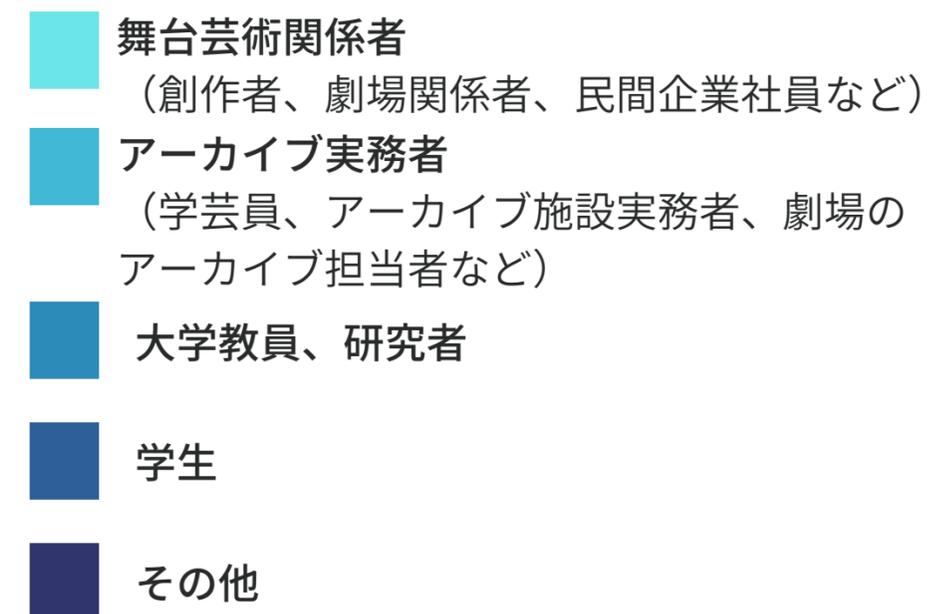


## 令和6年度

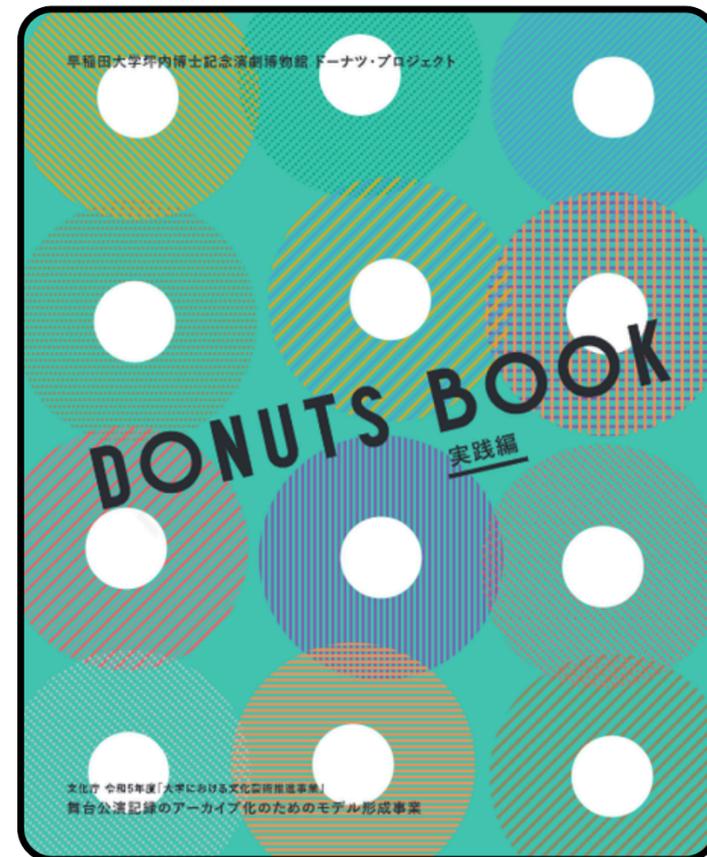
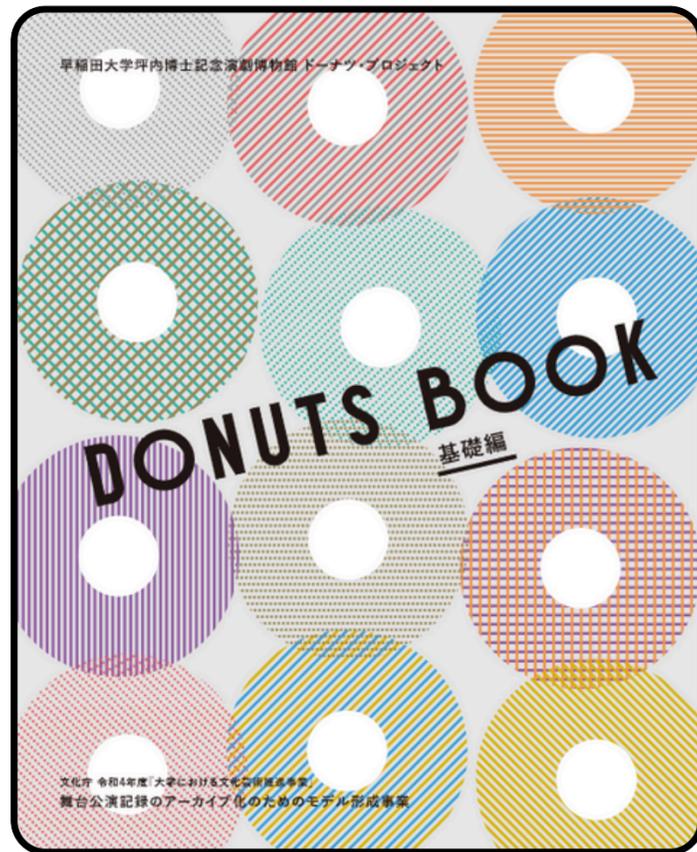
会場：25名

アーカイブ：67名

(全92名)



## ② 『DONUTS BOOK』 の作成



講座内容（資料含む）と  
ワークショップをまとめた  
ハンドブックを全受講者に配布。

\* 令和6年度は2025年3月頃発送予定

## ③ イベントの開催

---

### アフターミーティング (2022)

受講者が集まり懇談会を開催

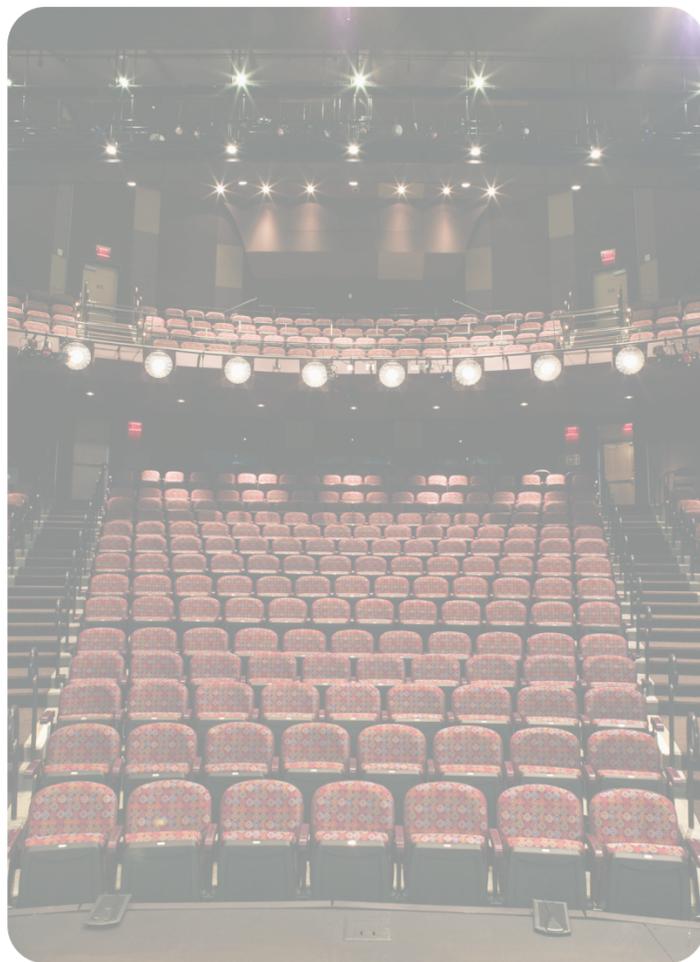
### シンポジウム (2023)

「ドーナツ・プロジェクト2023  
舞台芸術に携わる人のためのアーカイブガイドブックつくりました」

### アフターイベント (2023)

「『ファーストステップガイド』懇談会  
—舞台芸術に携わる人のためのアーカイブガイドブックへの手引き」

## 令和6年度の 開催予定



## シンポジウム ドーナツ・プロジェクト2024 舞台芸術アーカイブの可能性 ～劇場の記憶を紡ぐために～

日時：12月5日（木）

時間：18:00~20:30

場所：早稲田大学 国際会議場

第一部「ドーナツ・プロジェクト連続講座を振り返る」

第二部「舞台芸術アーカイブの可能性～劇場の記憶を紡ぐために～」

〈第二部登壇者〉

梅山いつき（近畿大学文芸学部准教授）

外波山文明（劇団椿組座長・役者）

平田オリザ（劇作家・演出家、芸術文化観光専門職大学学長）

宮澤一彦（株式会社俳優座劇場・劇場部）

吉見俊哉（國學院大學教授）

司会：岡室美奈子（早稲田大学文学学術院教授）

# 04

## ドーナツ・プロジェクトの成果

ドーナツ・プロジェクトのこれまでの成果を紹介します。

ATAPマニュアルの翻訳と公開

『アーカイブガイドブック』の作成

『ファーストステップガイド』の作成

①

# American Theatre Archive Project

## マニュアルの翻訳と公開 (2022年)

**PRESERVING  
THEATRICAL  
LEGACY**  
演劇の遺産を守る

*An Archiving Manual  
for Theatre Companies*  
劇団・劇場のための  
アーカイビングマニュアル

日本語翻訳版  
*American Theatre  
Archive Project*  
アメリカンシアター  
アーカイブプロジェクト

アメリカ演劇のアーカイブを促進するために作られた団体 American Theatre Archive Project が「劇団・劇場のためのアーカイビングマニュアル」として作った『PRESERVING THEATRICAL LEGACY』を和訳。

「なぜ演劇をアーカイブするのか？」という問題提起から、その保存の方法にいたるまで、演劇分野の舞台的なアーカイブの手引書。

②

## 『舞台芸術に携わる人のための アーカイブガイドブック』の作成（2023年）



『PRESERVING THEATRICAL LEGACY』の日本語訳を踏まえつつ、日本の劇団や劇場、演劇人のためのアーカイブガイドとして新たに作成したものの。

舞台芸術のアーカイブを整理・活用する際に役立つ、アプローチ・手法・基礎知識などを紹介する手引書。

③

## 『ファーストステップガイド』の作成（2023年）



アーカイブ活動のはじめの一歩（ファーストステップ）を踏み出すために読んでいただきたい道しるべ役となる冊子。

『アーカイブガイドブック』と並んで作られ、アーカイブの具体的なイメージをこれから掴もうとしている方に向けたもの。

---

## ドーナツ・プロジェクト WEBサイト



# 05

## 今後の展望

1. アーカイブ動画や『DONUTS BOOK』『アーカイブガイドブック』等のコンテンツを活用しながら、支援プログラムの継続を図る。
2. 講座を常設化し、舞台芸術分野のアーキビストを引き続き育成することが望まれる。今後は多種多様な立場の人に向け、個々の課題を解決できるような講座を目指し、ジャンルや業界の垣根を超えた交流促進の場を検討する。
3. 早稲田大学だけでなく、他大学や公共施設と協力体制を作りながら、舞台芸術アーカイブの人材育成ネットワーク構築を進める。

---

ご清聴ありがとうございました

---